

美術学部・美術研究科

科目 日本画実技Ⅰ

担当 岩永 てるみ

回答した学生 12 名

受講登録者 12 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	3
4	90%くらい	6
3	80%くらい	2
2	70%くらい	0
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		12

設問		2	3
5	強くそう思う	8	8
4	ややそう思う	2	2
3	どちらともいえない	1	2
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		12	12

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	2	1	5	5	4	0	8	6
4	ややそう思う	3	4	2	4	5	2	2	4
3	どちらともいえない	7	4	5	3	3	4	2	2
2	あまりそう思わない	0	2	0	0	0	2	0	0
1	まったくそう思わない	0	1	0	0	0	4	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		12	12	12	12	12	12	12	12

授業科目	日本画実技 I				担当者	松村 公嗣・岩永 てるみ		
開講時期	通年	曜日	月～金	時限	1～2	アンケート様式	☐ 講義	☒ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 日本画の基本となる写生を基礎とし、日本画の基礎的な技術を習得する。また、絵具、筆、膠及び基底材としての雲肌麻紙、絹等の日本画材料を理解する。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 出席・意欲においては12人中の11人の学生が80%以上の出席、10人が意欲的に取り組んだと答えており、かなり積極的に授業に取り組む姿勢が見られた。また内容への興味・関心についても10人の学生が高まったと回答しているのでほとんどの学生自身は相当に授業に取り組む態度が強いと思われる。 (2) 授業について 授業の組み立てや進め方やその内容、教員の指導の方法についてもおおよそ満足し、専門能力の向上に役立ったと答えており、総合的には評価が高い結果となった。ただ、日本画経験の無い1年生がシラバスを理解し活用するのは難しかったと思われるので、更にシラバスを分かりやすく工夫するとともに、授業内でのフォローを強化していきたい。 特に不満が多かったのは教室・設備に対しての不満で、教員がいくら努力しても解決できることではないので、大学サイドの努力を望みたい。 (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて この質問では回答がなかった。悪い意見がないということは学生が授業に対してそれなりの満足を感じていると思われるが、今後は更によりよい授業を目指して工夫をしたい。 (4) 自由記述より学生からの要望について 7件の要望があったが、そのほとんどがブレイカーが飛び、電源が使えず困ったという意見であった。 日本画専攻では膠を溶かしたり、保温したりと電源は必要不可欠である。電源の見直し、確保を大学側に強く要望したい。 また日本画で使用する絵具はすべて膠が必要で、気温が低いと固まってしまう性質がある。単純に寒いということではなく、作業が進まなくなるので冬の暖房環境の改善を望む。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） ・毎年シラバスの見直しを行うと共に、シラバスでは伝え切れなかった課題内容に関しては細かいスケジュールや工程等を示したプリントを配布して理解を深めるように努める。 ・過去のアンケートでは教員とのコミュニケーションに対して足りないという回答があったが、今回は大方良い回答であった。年に2～3回の個人面談は行ってきたが、今後もさらに細やかな指導を行い個々の学生とのコミュニケーションを計っていききたい。 ・各課題に小下図を作成させ、全員でのディスカッション形式の研究会を行い、制作に対する意識の向上を目指す。 ・基礎力を身につける学年なので、少しずつ課題を変更したり、細かい指示を出して授業の質を上げるように努力する。 4 その他、意見 やはり学生要望で一番強いのは教室の環境のことであった。特に寒さに関しては膠が固まるという致命的な欠点があるのでエアコン・ストーブの使用基準の緩和を要望したい。 また、前述したが、大学内の電源の配線により多くの教室が同じ配線になっているようで、すぐにオーバーしてブレイカーが落ちることがあるようだ。教室の見直し、改善を要望したい。								

科目 日本画実技Ⅱ

担当 吉村 佳洋

回答した学生 11 名

受講登録者 11 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	4
4	90%くらい	0
3	80%くらい	4
2	70%くらい	1
1	60%以下	2
	無回答	0
小計		11

設問		2	3
5	強くそう思う	2	5
4	ややそう思う	6	2
3	どちらともいえない	1	3
2	あまりそう思わない	2	0
1	まったくそう思わない	0	1
	無回答	0	0
小計		11	11

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
5 授業時間は十分だと感じましたか。
6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
9 教室・設備については適切でしたか。
10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	1	1	3	2	1	0	2	2
4	ややそう思う	4	4	1	4	5	1	6	5
3	どちらともいえない	3	2	5	1	2	0	2	3
2	あまりそう思わない	1	3	1	3	2	7	1	0
1	まったくそう思わない	2	1	1	1	1	3	0	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		11	11	11	11	11	11	11	11

科目 日本画実技Ⅲ

担当 岡田 眞治

回答した学生 9 名

受講登録者 9 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	2
4	90%くらい	2
3	80%くらい	0
2	70%くらい	4
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		9

設問		2	3
5	強くそう思う	4	4
4	ややそう思う	1	4
3	どちらともいえない	4	1
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		9	9

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
5 授業時間は十分だと感じましたか。
6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
9 教室・設備については適切でしたか。
10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	1	0	1	0	0	0	1	1
4	ややそう思う	2	3	5	2	6	2	5	5
3	どちらともいえない	5	4	3	5	3	3	3	3
2	あまりそう思わない	1	2	0	1	0	1	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	1	0	3	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		9	9	9	9	9	9	9	9

授業科目	日本画実技Ⅲ				担当者	岡田 眞治		
開講時期	通年	曜日	月～金	時限	1～5	アンケート様式	☐ 講義	☒ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
 1、2年の基礎的実技の上に発想と表現力を展開し、造形力を向上させ、4年次の卒業制作に向け準備に入る。
 古典模写、古美術研究を通して古典に対する認識、興味を持たせ日本画の幅広い表現を研究する。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
 9人中8人が70%の出席率だったので大半の学生が良い出席だったといえる。
 意欲も9人中5人が意欲的に取り組み、9人全員が授業後の興味・関心が高まったとの回答なので高評価と思われる。

(2) 授業について
 実技授業のシラバスは、授業の選択にあまり役立っていないとの回答が多かった。
 教員とのコミュニケーションは不満足との回答が多かったので、改善しなくてはならない。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて
 学生の記述はなかった。

(4) 自由記述より学生からの要望について
 学生の記述はなかった。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）
 会議・受託研究等で学生とのコミュニケーションにあてる時間が不足がちなので、今後改善したい。
 6／9の学生がよい授業と判断しているのは満足しているが、施設面では不満が多く、特に冬の寒さ対策が急務と考える。また害虫対策も新たな問題点として浮上している。
 教職関連の授業が多いので、実技に集中させることが肝要である。

4 その他、意見
 快適な環境で施設面の不満をなくして授業を受けさせてやりたいです。

科目 日本画実技Ⅳ

担当 角島 直樹

回答した学生 10 名

受講登録者 11 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	2
4	90%くらい	1
3	80%くらい	3
2	70%くらい	4
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		10

設問		2	3
5	強くそう思う	4	3
4	ややそう思う	3	3
3	どちらともいえない	2	3
2	あまりそう思わない	0	1
1	まったくそう思わない	1	0
	無回答	0	0
小計		10	10

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
5 授業時間は十分だと感じましたか。
6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
9 教室・設備については適切でしたか。
10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	2	3	2	2	3	1	3	3
4	ややそう思う	0	4	3	4	2	0	4	5
3	どちらともいえない	3	2	5	2	3	2	1	1
2	あまりそう思わない	1	1	0	2	2	3	1	1
1	まったくそう思わない	4	0	0	0	0	4	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		10	10	10	10	10	10	10	10

授業科目	日本画実技Ⅳ				担当者	角島 直樹	
開講時期	通年	曜日	月	時限	1, 2	アンケート様式	☐ 講義 ☒ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 4年間の集大成として、前期（予備制作）、後期（卒業制作）に、150号の大作を課し、習得した日本画技術での構成力や表現力を身につける。 2 アンケート結果の所見 （１）受講した学生自身について アンケートにおける受講結果は、おおむね好評価を得ていると思われる。授業の出席率によって、明らかに理解度が高まっていると思われる。 （２）授業について 前・後期、150号という大作を課すことにより、その制作課程における課題が、1対1の対話の中で、より理解し解決しやすくなるので、今後ともこの対話を重視したい。 （３）自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 前・後期に大作を課す事により、制作中における課題が明確になり、次に進めることが出来たのが良かったと思われる。 （４）自由記述より学生からの要望について 就職活動に関して言えば、本専攻は、作家を育てる事を第一としているので、与えられた時間内に就職活動をすれば良いと思われる。アトリエ環境については、日本画制作にはニカワを接着材料とする為、特に冬季においてのアトリエの暖房能力は、時間延長等の改善を要する。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 多様化する作品の発想等に対し、より1対1の対話が円滑にまた、学生自身にも明確にさせるため、事前に、予備、卒業制作に関して、本人の制作意図等を、アンケート形式で提出させる。 4 その他、意見							

科目 彫刻実技Ⅰ

担当 彫刻専攻

回答した学生 10 名

受講登録者 10 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	3
4	90%くらい	4
3	80%くらい	1
2	70%くらい	1
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		10

設問		2	3
5	強くそう思う	5	7
4	ややそう思う	4	3
3	どちらともいえない	1	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		10	10

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	2	4	6	1	3	3	8	3
4	ややそう思う	3	4	3	6	4	4	2	6
3	どちらともいえない	3	1	1	3	3	2	0	1
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	1	0	0
1	まったくそう思わない	2	1	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		10	10	10	10	10	10	10	10

授業科目	彫刻実技 I				担当者		森北 伸	
開講時期	通年	曜日		時限	1・2	アンケート様式	☐ 講義	☒ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 ・ 4 課題を中心に位置づけ、塑像・木彫・石彫・金属・樹脂などを各授業を通して、彫刻実技の基礎を学ぶ。また専門技術の習得とそのための機会及び道具の使い方と知識を学ぶ。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について ・ アンケート結果を見る限り、おおむね良好と考えて良いと思う。 (2) 授業について ・ 質問 3 での結果には特に勇気づけられ、二年生にあがる準備が学生に出来ていると判断する。 (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて ・ アンケートからは判断出来ない。 (4) 自由記述より学生からの要望について ・ 施設整備に対しての要望が多く、早い改善を望む。 3 今後の授業の工夫・改善 (FD) ・ 基礎的な授業内容が多いので、受講生が飽きないような授業運営をすること。 ・ 少人数制の利点を生かし、一人一人に合わせたディスカッションを大切にする。 4 その他、意見								

科目 彫刻実技Ⅱ

担当 彫刻専攻

回答した学生 10 名

受講登録者 10 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	1
4	90%くらい	3
3	80%くらい	2
2	70%くらい	3
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		10

設問		2	3
5	強くそう思う	5	8
4	ややそう思う	2	0
3	どちらともいえない	2	1
2	あまりそう思わない	0	1
1	まったくそう思わない	1	0
	無回答	0	0
小計		10	10

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
5 授業時間は十分だと感じましたか。
6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
9 教室・設備については適切でしたか。
10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	4	3	6	6	7	5	7	8
4	ややそう思う	2	5	3	3	2	4	2	1
3	どちらともいえない	3	2	0	0	0	0	0	1
2	あまりそう思わない	0	0	1	0	0	1	0	0
1	まったくそう思わない	1	0	0	1	1	0	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		10	10	10	10	10	10	10	10

授業科目	彫刻実技Ⅱ				担当者		森北 伸	
開講時期	通年	曜日		時限	1・2	アンケート様式	☐ 講義	☒ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 ・一年生に引き続き基礎的な修練と彫刻素材（塑像・木彫・石彫・テラコッタ・キャスト）に対する技術向上を目的に授業展開している。 2 アンケート結果の所見 （１）受講した学生自身について ・アンケート結果を見る限り、おおむね良好と考えて良いと思う。 （２）授業について ・質問３での結果には特に勇気づけられ、多種多様な彫刻素材に対する習得意欲が学生に感じられる。 （３）自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて ・一年生の時より二年生の方が教官とのコミュニケーションが取れていると感じるアンケートが多い。 （４）自由記述より学生からの要望について ・施設整備に対する要望が多く、早い改善を望む。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） ・基礎的な授業内容が多いので、受講生が飽きないような授業運営をすること。 ・少人数制の利点を生かし、一人一人に合わせたディスカッションを大切にする。 4 その他、意見								

科目 彫刻実技Ⅲ

担当 彫刻専攻

回答した学生 10 名

受講登録者 10 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	2
4	90%くらい	5
3	80%くらい	2
2	70%くらい	0
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		10

設問		2	3
5	強くそう思う	6	8
4	ややそう思う	3	1
3	どちらともいえない	1	1
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		10	10

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
5 授業時間は十分だと感じましたか。
6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
9 教室・設備については適切でしたか。
10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	0	3	3	2	4	1	7	4
4	ややそう思う	2	4	4	3	2	5	2	5
3	どちらともいえない	7	3	3	2	4	4	1	1
2	あまりそう思わない	0	0	0	2	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	1	0	0	1	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		10	10	10	10	10	10	10	10

授業科目	彫刻実技Ⅲ				担当者	土屋 公雄	
開講時期	通年/午前・午後	曜日		時限		アンケート様式	☐ 講義 ☒ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 1・2年次の基礎実技授業に加え、新たな実技授業における学習を通してより広範囲な表現に対応できる表現を養う。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 3年生となり、様々な表現を身につける為に設定された授業であり、学生たちは各自が自由なテーマ・表現によって積極的に取り組んでいる様思える。 (2) 授業について 1・2年次の基礎実技授業から開放された最初の授業のためか、学生の中には自由制作に戸惑う者もいるが、表現が如何に自己を開放することから始まるかは学生たちも認識しており、授業時間を重ねるたびに創造世界のダイナミズムを感じている様である。 (3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて ほぼ全員の学生が、授業後積極的に自由制作に取り組み、この授業への関心は非常に強いものと思われる。4年次の卒業制作でも、この授業が作品制作の切掛け・動機となっているものが多く、場所と作品の関係性を考えるトレーニングになっている。 (4) 自由記述より学生からの要望について 他の授業や集中講義とぶつかることがあるため、制作に集中でいない学生もいたようである。また施設の老朽化、冷暖房が時間によって切れてしまうことへの不満は常に出ている。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 授業内容は今後も変更せず継続するつもりである。 ただ設備として、p c 環境を整えプレゼの為のキャド授業も展開して行きたい。 4 その他、意見							

科目 彫刻実技Ⅳ

担当 彫刻専攻

回答した学生 8 名

受講登録者 10 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	5
4	90%くらい	1
3	80%くらい	1
2	70%くらい	0
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		8

設問		2	3
5	強くそう思う	6	7
4	ややそう思う	1	0
3	どちらともいえない	0	1
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		8	8

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
5 授業時間は十分だと感じましたか。
6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
9 教室・設備については適切でしたか。
10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	2	6	6	2	3	3	5	6
4	ややそう思う	0	0	0	0	2	1	1	1
3	どちらともいえない	3	0	2	4	1	2	2	1
2	あまりそう思わない	0	1	0	0	1	2	0	0
1	まったくそう思わない	3	1	0	2	1	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		8	8	8	8	8	8	8	8

授業科目	彫刻実技Ⅳ				担当者	神田 毎実	
開講時期	後期	曜日	通	時限	午前	アンケート様式	☐ 講義 ☒ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

授業の特徴は、年度当初に各自がたてた研究計画に基づき研究を進めていく点であるが、研究に対する批判を受けながら進めることを前提としており、そのために、一同に会した教員に対して各自の計画を公表することを義務付けている。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

卒業（研究）制作が彫刻実技Ⅳに含まれるというカリキュラムの構造的特徴が、一種の解り難さとなっていることがわかる。卒業制作という明瞭な目標があるために、自身の取組みに対する評価には一定の力強さを感じるが、一方シラバスはこの点を逆に反映して“解り難いと感じる”結果となっている。所謂“含む構造”に対する解り易い説明が課題となる。

(2) 授業について

コミュニケーション に関して言えば、上記（1）の内容に関係する。卒業研究に関しては、現在は（以前とは異なり）各自が特定の指導教員を持たないことが、関係していると思われる。ただし、“各自が、各自の研究を自力で立ち会出ていかなければならない時期”と位置付けているため、今後も、現在のカリキュラム構造が解り易いものとなるまでは、この傾向は続くのではないかと考える。また、8. に関しては、この授業が、自身の研究を中心に行っている以上設定に矛盾を感じる。なぜならば、自分自身が無理な研究を行っていることが前提にならなければ回答の内容が整合性を持たない。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

集中して、自身の考えをまとめる機会としてだけでなく、そのことの上に充実した研究を積み上げることが本来の目標。

(4) 自由記述より学生からの要望について

講評の日程を早めに提示することは行っているが、年度当初に組み込むことも検討する必要があるだろう。年度当初のガイダンスでは、おおよそのスケジュールは通達済であるので、どこまでが必要かは改めて判断が必要。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

定期的な研究報告を積み上げることが必要かと思われる。が、3年次における“自立・自律”に向かう仕組みの工夫が重要になるかもしれない。ただし、学生の大学入学までの美術に関する種々の環境を考えると、個々人によって幾分の開きが存在することも止もう得ないと思われるので、個別の指導が再度考えられなければならないのかもしれない。

4 その他、意見

沢山のことが読み取れるのであるが、A4用紙1枚に所見をまとめることはたいそう大変であるので、紙面に多少のゆとりが欲しいということであろうか。

科目 彫刻特別実技Ⅰ

担当 彫刻専攻

回答した学生 10 名

受講登録者 10 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	0
4	90%くらい	5
3	80%くらい	1
2	70%くらい	0
1	60%以下	4
	無回答	0
小計		10

設問		2	3
5	強くそう思う	2	4
4	ややそう思う	4	2
3	どちらともいえない	1	1
2	あまりそう思わない	0	1
1	まったくそう思わない	3	2
	無回答	0	0
小計		10	10

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
5 授業時間は十分だと感じましたか。
6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
9 教室・設備については適切でしたか。
10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	1	2	1	1	1	0	1	1
4	ややそう思う	2	3	3	1	1	2	5	5
3	どちらともいえない	5	2	4	2	2	2	0	2
2	あまりそう思わない	2	3	2	3	4	6	1	1
1	まったくそう思わない	0	0	0	3	2	0	3	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		10	10	10	10	10	10	10	10

授業科目	彫刻特別実技Ⅰ				担当者	土屋 公雄	
開講時期	通年	曜日		時限	午後	アンケート様式	☐ 講義 ☒ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

各自が定めたテーマによる自由研究（彫刻実技Ⅲとは別に、担当教員の指導を受け研究、制作を行う）を通して、彫刻の造形性、構築性等について学ぶ。

2 アンケート結果の所見

（1）受講した学生自身について

全体的にバラつきはあるが、おおむね良好であろう。ただ教員とのコミュニケーションの質問に対して改善の余地があると思われる。

（2）授業について

自由研究ではあるが、今年度より大きな枠でのテーマを与え進めてみたが、やはりそこでも各先生方とのコミュニケーションがより一層必要のように感じた。

（3）自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

学生からは、美術に対する考えが深まった。或いは客観的に作品を見ることが出来た等の意見も出ていたが、まだ判断材料が乏しい為、回答が難しい。

（4）自由記述より学生からの要望について

ここでも施設の老朽化、さらにエアコンの問題において毎年多くの要望が出ている。授業内容に関しては、授業の詳細をもう少し明快に記述して欲しいとの要望が出ていた。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

授業の詳細を明快に記述し、1年間の計画の作り方・あり方等に関し学生とよりコミュニケーションを取り、学生にとって充実した制作活動が出来るよう考えて行きたい。

4 その他、意見

科目 彫刻特別実技Ⅱ

担当 彫刻専攻

回答した学生 7 名

受講登録者 7 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	3
4	90%くらい	1
3	80%くらい	0
2	70%くらい	0
1	60%以下	3
	無回答	0
小計		7

設問		2	3
5	強くそう思う	4	4
4	ややそう思う	1	1
3	どちらともいえない	0	1
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	2	1
	無回答	0	0
小計		7	7

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	3	4	2	2	2	0	2	4
4	ややそう思う	0	0	1	1	1	0	2	0
3	どちらともいえない	2	1	3	0	1	2	2	2
2	あまりそう思わない	0	1	0	1	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	2	1	1	3	3	5	1	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		7	7	7	7	7	7	7	7

授業科目	彫刻特別実技Ⅱ				担当者	神田 毎実		
開講時期	通年	曜日		時限	午後	アンケート様式	☐ 講義	☒ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
この授業の教育方法の特徴をあえて挙げるとすれば、“自学・自習の力が試される・鍛えられる”ということになると思われる。
彫刻専攻においては、3年次より“基礎的な技術”に焦点をあてた授業は終わり、演習や実験的な手法の授業へと移行していく。本授業は、4年次に行われるものであるから、学生自身に掛かる自己管理に関する負荷は3年次ほどではないと予想されるが、基本的には自己管理が出来なければ、結果は惨憺たるものになる。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
この設問に関する回答に対しては、学生自身の評価をどうとらえるかということが問題になろう。理由は簡単で、“自己管理”に関して、個々の基準はまちまちであろうと予想できるからだ。そのために単純に比較はできず、授業の質的な改善に関して、つまりFDに関して、有効なアンケートデータとして取り上げられるかどうかは問題が残る。

(2) 授業について
設問6. 7. 8. 9. 10.の結果がほぼ同じであることは何を意味するのか。受講者の3分の1が、自身のテーマと実力と環境に関して合理的に試行し、自らが課した課題に取り組んだということの証しであると考えることが順当であろうと思われる。例えば、シラバスが理解できない内容であると仮定したとしても、自己管理が重要であることを読み取り実施した受講生が存在し、なおかつ、この方式の授業は、3年次に続いて2回目であることを考えれば、目標を自身で定めることが未だ十分に出来にくい学生が多く存在していることを示していると捉えるべきであろう。また、この事がある意味で裏付けるものであると思われるのは、5. 11.の結果が同じであることであろう。時間が十分＝役に立つ＝作る時間があれば良いと思う学生が前の評価に20%加わったということではないか。例えば、自由制作時間が沢山あるという点がその理由だとすれば、自己管理が出来なければ、単に遊ぶ時間が沢山あるということが評価されたことになる（極論ではあるが）。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて
記述無しのため記述不可。

(4) 自由記述より学生からの要望について
基本的には、施設・設備に関することであるが、具体的な記述はないためこれ以上は明記できない。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）
“自己管理”の方向性は、これ自体を訓練として維持するとしても、授業実施の意義に関しての説明が必要である。また、途中段階でのプレゼンテーションを課すことも一つ方法であろうと思われる。

4 その他、意見
沢山のことが読み取れるのであるが、A4 用紙1枚に所見をまとめることはたいそう大変であるので、紙面に多少のゆとりが欲しいということであろうか。

科目 芸術学基礎実技ⅠA

担当 森田 義之

回答した学生 7名

受講登録者 7名

●受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	4
4 90%くらい	2
3 80%くらい	1
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	7

設問	2	3
5 強くそう思う	2	3
4 ややそう思う	4	2
3 どちらともいえない	0	1
2 あまりそう思わない	1	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	7	7

●授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	2
4 ややそう思う	0
3 どちらともいえない	2
2 あまりそう思わない	1
1 まったくそう思わない	2
無回答	0
小計	7

設問	5
5 ほぼ時間どおり	4
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	2
無回答	0
小計	7

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	4	2	4	5	2	2	4
4 ややそう思う	1	2	2	1	4	3	2
3 どちらともいえない	0	2	1	1	1	2	1
2 あまりそう思わない	1	0	0	0	0	0	0
1 まったくそう思わない	0	1	0	0	0	0	0
無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計	7	7	7	7	7	7	7

科目 芸術学基礎実技Ⅱ A

担当 森田 義之

回答した学生 4 名

受講登録者 6 名

●受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	0
4 90%くらい	1
3 80%くらい	1
2 70%くらい	1
1 60%以下	1
無回答	0
小計	4

設問	2	3
5 強くそう思う	2	2
4 ややそう思う	0	1
3 どちらともいえない	1	1
2 あまりそう思わない	1	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	4	4

●授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	1
4 ややそう思う	1
3 どちらともいえない	1
2 あまりそう思わない	1
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	4

設問	5
5 ほぼ時間どおり	3
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	4

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	3	2	1	2	1	0	2
4 ややそう思う	0	0	1	1	1	2	1
3 どちらともいえない	0	2	2	1	2	2	1
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計	4	4	4	4	4	4	4

科目 美学特講Ⅰ

担当 中 敬夫

回答した学生 3 名

受講登録者 7 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	2
4	90%くらい	1
3	80%くらい	0
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		3

設問		2	3
5	強くそう思う	2	2
4	ややそう思う	1	1
3	どちらともいえない	0	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		3	3

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強くそう思う	1
4	ややそう思う	1
3	どちらともいえない	1
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		3

設問		5
5	ほぼ時間どおり	3
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		3

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強くそう思う	2	2	2	3	3	3	3
4	ややそう思う	1	1	1	0	0	0	0
3	どちらともいえない	0	0	0	0	0	0	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		3	3	3	3	3	3	3

授業科目	美学特講 I				担当者	中 敬夫	
開講時期	前期	曜日	水	時限	4	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

本年度「美学特講 I」のテーマは「カントの『判断力批判』」である。カントの『判断力批判』の中から、「序文」「序論」「第二部 目的論的判断力の批判」は割愛して、カント美学の中心たる「第一部 美感的判断力の批判」を、可能な限り丁寧に —— 時には原典邦訳の講読を交えながら —— 紹介し、解明してゆく。毎回、授業内容を要約したものと、関係内容を原典（邦訳）から抜粋コピーしたものとを、プリントにして配布し、学生の理解が容易になるよう、かつまた学生の関心が深まるように、工夫した。

2 アンケート結果の所見

（1）受講した学生自身について

出席率は 90%、100%の学生のみだった。意欲的に取り組んだ、そして授業後に興味・関心が高まった、と述べた学生のみだった。

（2）授業について

授業時間は正確に守られていた、話し方・スピードは適切であった、板書やプリントや資料は見やすかった、説明はわかりやすかった、教員はよく準備し熱心だった、コミュニケーションは取れていた、教室・設備は適切だった、授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思った、と答えた学生のみであった。シラバスが役立ったかという問いに関しても、どちらとも言えないと答えた学生が一人だけいたが、それ以外は役立ったとする学生のみであった。

（3）自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

「カント美学を本格的に学べること」を評価した学生がいた。

（4）自由記述より学生からの要望について

特になかった。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

今後とも、学生に評価される授業を心掛けたい。

4 その他、意見

もともと受講生が少ない（7 名）授業で、たまたまアンケートを取った日には 3 人しか来ていなかったということもあって、アンケートがどれほど有効なものであったか、多少疑問に思うところがある。10 人以下の授業では、アンケートを取る必要はないのではないか、とも思う。

科目 西洋美術史特講Ⅰ

担当 森田 義之

回答した学生 14 名

受講登録者 26 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	0
4 90%くらい	3
3 80%くらい	7
2 70%くらい	4
1 60%以下	0
無回答	0
小計	14

設問	2	3
5 強くそう思う	2	4
4 ややそう思う	6	7
3 どちらともいえない	5	2
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	1	1
無回答	0	0
小計	14	14

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	1
4 ややそう思う	5
3 どちらともいえない	8
2 あまりそう思わない	0
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	14

設問	5
5 ほぼ時間どおり	4
4 延長することが多い	8
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	14

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	2	5	5	9	4	7	5
4 ややそう思う	7	5	5	4	5	4	7
3 どちらともいえない	5	4	4	1	4	3	2
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	1	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	14	14	14	14	14	14	14

科目 日本美術史特講Ⅰ

担当 熊田 由美子

回答した学生 11 名

受講登録者 16 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	1
4 90%くらい	5
3 80%くらい	2
2 70%くらい	3
1 60%以下	0
無回答	0
小計	11

設問	2	3
5 強くそう思う	0	4
4 ややそう思う	7	5
3 どちらともいえない	3	2
2 あまりそう思わない	1	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	11	11

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	0
4 ややそう思う	5
3 どちらともいえない	4
2 あまりそう思わない	1
1 まったくそう思わない	1
無回答	0
小計	11

設問	5
5 ほぼ時間どおり	5
4 延長することが多い	6
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	11

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	4	1	2	6	1	9	6
4 ややそう思う	4	6	7	3	6	1	3
3 どちらともいえない	3	4	2	2	4	1	2
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	11	11	11	11	11	11	11

科目 日本美術史概説A

担当 熊田 由美子

回答した学生 73 名

受講登録者 108 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	31
4 90%くらい	29
3 80%くらい	10
2 70%くらい	3
1 60%以下	0
無回答	0
小計	73

設問	2	3
5 強くそう思う	9	9
4 ややそう思う	10	23
3 どちらともいえない	33	25
2 あまりそう思わない	17	12
1 まったくそう思わない	4	3
無回答	0	1
小計	73	73

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	11
4 ややそう思う	13
3 どちらともいえない	30
2 あまりそう思わない	15
1 まったくそう思わない	4
無回答	0
小計	73

設問	5
5 ほぼ時間どおり	56
4 延長することが多い	8
3 開始が遅いことが多い	6
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	2
無回答	1
小計	73

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	17	14	14	27	4	22	11
4 ややそう思う	17	18	17	27	10	23	22
3 どちらともいえない	14	26	22	16	27	20	26
2 あまりそう思わない	16	13	14	3	15	8	12
1 まったくそう思わない	7	2	6	0	17	0	2
無回答	2	0	0	0	0	0	0
小計	73	73	73	73	73	73	73

科目 西洋美術史概説A

担当 森田 義之

回答した学生 61 名

受講登録者 83 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	30
4 90%くらい	22
3 80%くらい	6
2 70%くらい	3
1 60%以下	0
無回答	0
小計	61

設問	2	3
5 強くそう思う	9	15
4 ややそう思う	21	27
3 どちらともいえない	19	12
2 あまりそう思わない	10	7
1 まったくそう思わない	2	0
無回答	0	0
小計	61	61

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	13
4 ややそう思う	16
3 どちらともいえない	22
2 あまりそう思わない	5
1 まったくそう思わない	3
無回答	2
小計	61

設問	5
5 ほぼ時間どおり	39
4 延長することが多い	13
3 開始が遅いことが多い	5
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	3
無回答	1
小計	61

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
- 8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- 9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
- 10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 11 教室・設備については適切でしたか。
- 12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	17	16	13	19	6	17	12
4 ややそう思う	22	25	32	29	9	22	33
3 どちらともいえない	16	11	10	11	22	13	12
2 あまりそう思わない	4	7	3	1	12	8	3
1 まったくそう思わない	1	1	2	0	11	0	0
無回答	1	1	1	1	1	1	1
小計	61	61	61	61	61	61	61

科目 美術材料学A

担当 森田 義之

回答した学生 54 名

受講登録者 77 名

●受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	41
4 90%くらい	8
3 80%くらい	5
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	54

設問	2	3
5 強くそう思う	16	18
4 ややそう思う	20	28
3 どちらともいえない	13	5
2 あまりそう思わない	5	2
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	1
小計	54	54

●授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	21
4 ややそう思う	17
3 どちらともいえない	8
2 あまりそう思わない	4
1 まったくそう思わない	4
無回答	0
小計	54

設問	5
5 ほぼ時間どおり	29
4 延長することが多い	4
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	18
1 よくわからない	3
無回答	0
小計	54

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	13	14	12	24	2	12	14
4 ややそう思う	24	24	30	23	20	17	31
3 どちらともいえない	13	15	10	6	18	15	5
2 あまりそう思わない	2	1	2	0	10	8	3
1 まったくそう思わない	1	0	0	0	4	2	0
無回答	1	0	0	1	0	0	1
小計	54	54	54	54	54	54	54

科目 現代アート概説A

担当 小西 信之

回答した学生 91 名

受講登録者 120 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	40
4 90%くらい	34
3 80%くらい	16
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	91

設問	2	3
5 強くそう思う	33	43
4 ややそう思う	34	38
3 どちらともいえない	23	7
2 あまりそう思わない	1	3
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	91	91

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	22
4 ややそう思う	35
3 どちらともいえない	26
2 あまりそう思わない	5
1 まったくそう思わない	3
無回答	0
小計	91

設問	5
5 ほぼ時間どおり	46
4 延長することが多い	11
3 開始が遅いことが多い	29
2 早く終わることが多い	2
1 よくわからない	3
無回答	0
小計	91

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	50	48	50	62	16	36	49
4 ややそう思う	31	24	32	25	18	27	34
3 どちらともいえない	10	17	9	4	37	23	8
2 あまりそう思わない	0	1	0	0	17	3	0
1 まったくそう思わない	0	1	0	0	3	2	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	91	91	91	91	91	91	91

授業科目	現代アート概説A				担当者	小西 信之		
開講時期	2010 年前期	曜日	水曜	時限	5	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 美術の講義なので、作品を視覚的に見せることを重視しており、プロジェクターでパソコンから画像を投影しながら行っている。素材はキーノート（Mac 版パワーポイント）に準備し、動画、静止画を問わず、視覚情報をふんだんに示しながら、解説を行っている。現代アートを深く感覚的に理解してもらうことを狙いとしている。 2 アンケート結果の所見 （1）受講した学生自身について 出席も良く（82%が、9 割の出席）、意欲的に取り組んだとする学生が 75%、関心が高まったと答えた学生が 89%であり、全体に非常に良いかたちで受講していると思われる。 （2）授業について 全体に高い評価を得ている。「良い授業であったか」を問う総合評価では「強くそう思う」が 53%、「ややそう思う」が 38%で「よい」の評価がトータル 91%となっている。100 人規模の授業では好結果といえる。 （3）自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて スライドが見易く、現代アートの歴史を多くの作品と共に理解することができた。（18 名） 授業おもしろいです。（3 名） （4）自由記述より学生からの要望について 開始が遅れがち。（2 名） 作者名と作品名はもっとちゃんと見えるようにしてほしい（2 名） 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 学生は今すぐ役立つ今の情報をより多く欲しているが、基本的な流れを教えることをベースにすることは変わらない。基本そのものをもっと深め、また講義の仕方そのものをもっと工夫し、学生が自力で美術について考え始めるように、美術の奥深さを伝えられるようにしたい。開始時間は、パソコンのセットアップの時間等があるため、やや遅れることがある。気をつけたい。キャプションは講義のプレゼンスタイル上難しいところもある。文字情報にももっと気を配るようにしたい。 4 その他、意見								

科目 文化財学概説

担当 熊田 由美子

回答した学生 19 名

受講登録者 29 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	9
4 90%くらい	5
3 80%くらい	3
2 70%くらい	2
1 60%以下	0
無回答	0
小計	19

設問	2	3
5 強くそう思う	9	9
4 ややそう思う	5	9
3 どちらともいえない	4	0
2 あまりそう思わない	1	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	19	19

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	7
4 ややそう思う	4
3 どちらともいえない	6
2 あまりそう思わない	2
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	19

設問	5
5 ほぼ時間どおり	12
4 延長することが多い	5
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	19

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	9	9	11	15	8	2	8
4 ややそう思う	6	6	4	2	3	1	9
3 どちらともいえない	3	2	3	1	6	7	1
2 あまりそう思わない	0	2	1	1	2	3	1
1 まったくそう思わない	1	0	0	0	0	6	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	19	19	19	19	19	19	19

科目 現代アート論特講Ⅱ

担当 小西 信之

回答した学生 8 名

受講登録者 33 名

●受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	1
4 90%くらい	2
3 80%くらい	4
2 70%くらい	0
1 60%以下	1
無回答	0
小計	8

設問	2	3
5 強くそう思う	0	4
4 ややそう思う	6	4
3 どちらともいえない	2	0
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	8	8

●授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	1
4 ややそう思う	3
3 どちらともいえない	3
2 あまりそう思わない	1
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	8

設問	5
5 ほぼ時間どおり	4
4 延長することが多い	3
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	8

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	4	3	4	5	2	0	4
4 ややそう思う	3	4	4	2	5	3	4
3 どちらともいえない	1	1	0	1	1	3	0
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	8	8	8	8	8	8	8

授業科目	現代アート特講Ⅱ				担当者		小西信之	
開講時期	2010 年後期	曜日	月曜	時限	3	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
 美術の講義なので、作品を視覚的に見せることを重視しており、プロジェクターでパソコンから画像を投影しながら行っている。素材はキーノート（Mac 版パワーポイント）に準備し、動画、静止画を問わず、視覚情報をふんだんに示しながら、解説を行っている。現代アートを深く感覚的に理解してもらうことを狙いとしている。特講は概説の内容をさらに特化して深めることを狙いとし、また後半は受講生有志に発表してもらいディスカッションをするというかたちを取った。

2 アンケート結果の所見
（１）受講した学生自身について
 出席も悪くなく（全員が、8 割の出席）、意欲的に取り組んだとする学生が 86%、全員が関心が高まったと答えており、比較的良好いかたちで受講していると思われる。

（２）授業について
 全体に良好な評価を得ている。総合評価（「よい授業か」）では「強くそう思う」が 43%、「ややそう思う」が 57%で全員が「よい」の評価をしている。

（３）自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて
 ・現代アートという説明が困難なものについてわかりやすく解説していた。
 ・ビデオがよかった。

（４）自由記述より学生からの要望について
 ・寒いときがあった。
 ・エアコンが途中できれて冷風が出る。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）
 特講は、概説の内容をより深めることを目的としているが、全専攻の学生が対象であるために授業運営がやや難しい。今後一層計画的な準備を深めて、より高いレベルの講義を行いたいと考えている。

4 その他、意見

科目 日本美術史概説B

担当 熊田 由美子

回答した学生 60 名

受講登録者 92 名

●受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	17
4 90%くらい	24
3 80%くらい	13
2 70%くらい	5
1 60%以下	1
無回答	0
小計	60

設問	2	3
5 強くそう思う	3	6
4 ややそう思う	13	21
3 どちらともいえない	24	20
2 あまりそう思わない	12	9
1 まったくそう思わない	7	2
無回答	1	2
小計	60	60

●授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	3
4 ややそう思う	14
3 どちらともいえない	24
2 あまりそう思わない	12
1 まったくそう思わない	6
無回答	1
小計	60

設問	5
5 ほぼ時間どおり	36
4 延長することが多い	16
3 開始が遅いことが多い	7
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	60

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	11	9	10	19	3	12	8
4 ややそう思う	18	18	12	20	5	21	16
3 どちらともいえない	17	19	25	14	24	21	29
2 あまりそう思わない	8	12	8	6	11	5	6
1 まったくそう思わない	4	2	5	1	17	1	1
無回答	2	0	0	0	0	0	0
小計	60	60	60	60	60	60	60

科目 現代アート概説B

担当 小西 信之

回答した学生 64 名

受講登録者 117 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	24
4 90%くらい	23
3 80%くらい	12
2 70%くらい	2
1 60%以下	2
無回答	1
小計	64

設問	2	3
5 強くそう思う	30	37
4 ややそう思う	17	18
3 どちらともいえない	12	8
2 あまりそう思わない	4	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	1	1
小計	64	64

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	18
4 ややそう思う	20
3 どちらともいえない	18
2 あまりそう思わない	5
1 まったくそう思わない	3
無回答	0
小計	64

設問	5
5 ほぼ時間どおり	38
4 延長することが多い	7
3 開始が遅いことが多い	16
2 早く終わることが多い	2
1 よくわからない	0
無回答	1
小計	64

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	34	34	46	43	12	31	42
4 ややそう思う	22	19	14	18	16	20	18
3 どちらともいえない	5	8	4	3	29	10	4
2 あまりそう思わない	1	3	0	0	6	2	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	1	0	0
無回答	2	0	0	0	0	1	0
小計	64	64	64	64	64	64	64

授業科目	現代アート概説 B				担当者	小西 信之		
開講時期	2010 年後期	曜日	水曜	時限	5	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

美術の講義なので、作品を視覚的に見せることを重視しており、プロジェクターでパソコンから画像を投影しながら行っている。素材はキーノート（Mac 版パワーポイント）に準備し、動画、静止画を問わず、視覚情報をふんだんに示しながら、解説を行っている。現代アートを深く感覚的に理解してもらうことを狙いとしている。後期概説 B は前期概説 A の続きで、20 世紀後半から現在までを対象とする。

2 アンケート結果の所見

（1）受講した学生自身について

出席も悪くなく（73%が、9 割の出席）、意欲的に取り組んだとする学生が 73%、関心が高まったと答えた学生が 86%であり、前期（概説 A）同様全体に非常に良いかたちで受講していると思われる。

（2）授業について

全体に高い評価を得ていると思う。総合評価（「よい授業か」）では「強くそう思う」が 66%、「ややそう思う」が 28%で「よい」の評価がトータル 94%となっている。100 人規模の授業では好結果といえる。

（3）自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

- ・先生の作品に対するコメントが面白いです。
- ・話。おもしろかったです。
- ・作家さんの具体的な作品をちゃんとみんな映像で見ることができたのが分かりやすく良かったです。
- ・すごく勉強になりました。
- ・映像を見るのが楽しい。
- ・トリエンナーレと瀬戸内の話はリアルタイムでおもしろかったです。

（4）自由記述より学生からの要望について

- ・始まりが、前の授業のせいでおくれる。
- ・現代アート概説ならば、もっと最新のことに多く時間をさいても良いのではないかと思います。でも先生の講義はおもしろかったです。
- ・時間通りに授業を始めて欲しい。
- ・もう少し生徒の意見をフィードバックした授業にして欲しい。
- ・もう少し踏みこんだ内容を。
- ・先生の話すスピードが速くて、ところどころ聞き取れない所があります。
- ・もう少し現代日本の状況を知りたかったです。
- ・作品の作者名をもっと大きく見えるようにしてほしい。
- ・日本についてももう少し触れてほしかったです。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

学生は今すぐ役立つ今の情報をより多く欲しているが、基本的な流れを教えることをベースにすることは変わらない。基本そのものをもっと深め、また講義の仕方そのものをもっと工夫し、学生が自力で美術について考え始めるように、美術の奥深さを伝えられるようにしたい。とはいえ、時刻の最新の動向についてもっと時間を割いていくことも考えていきたい。

4 その他、意見

科目 デザイン・工芸論A

担当 デザイン専攻

回答した学生 47 名

受講登録者 47 名

●受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	33
4 90%くらい	9
3 80%くらい	3
2 70%くらい	2
1 60%以下	0
無回答	0
小計	47

設問	2	3
5 強くそう思う	13	25
4 ややそう思う	20	18
3 どちらともいえない	11	3
2 あまりそう思わない	2	1
1 まったくそう思わない	1	0
無回答	0	0
小計	47	47

●授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	7
4 ややそう思う	12
3 どちらともいえない	18
2 あまりそう思わない	8
1 まったくそう思わない	2
無回答	0
小計	47

設問	5
5 ほぼ時間どおり	22
4 延長することが多い	20
3 開始が遅いことが多い	4
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	47

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	14	15	17	25	7	15	22
4 ややそう思う	23	12	19	16	20	17	21
3 どちらともいえない	7	16	9	5	15	8	3
2 あまりそう思わない	2	4	2	1	4	4	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	1	2	1
無回答	1	0	0	0	0	1	0
小計	47	47	47	47	47	47	47

授業科目	デザイン工芸論A				担当者		デザイン専攻教員	
開講時期	前期	曜日	金	時限	3	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 デザイン・工芸科の常勤教員が自分の仕事をベースにデザイン、工芸について紹介する。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について ほとんどの学生がしっかり授業に取り組んだ。 (2) 授業について 内容については概ね評価されている。各教員によるオムニバス形式なので若干コミュニケーションをとる時間はないが内容はしっかり理解されているようだ。 (3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて それぞれの教員が独自に語ることで様々な見方が伝わっている。学生自身の中身を広げるきっかけになっているところが大きい。 (4) 自由記述より学生からの要望について 他専攻の教員にも興味があり、また、具体的な将来の話を求めている。そのような時間の提供や紹介を積極的に行いたい。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 設備について、若干の工夫が必要（椅子、クーラーの効きすぎ等）。 4 その他、意見 特になし。								

科目 デザイン特講A

担当 デザイン専攻

回答した学生 35 名

受講登録者 41 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	4
4 90%くらい	17
3 80%くらい	10
2 70%くらい	4
1 60%以下	0
無回答	0
小計	35

設問	2	3
5 強くそう思う	9	11
4 ややそう思う	18	19
3 どちらともいえない	7	4
2 あまりそう思わない	1	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	35	35

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	6
4 ややそう思う	6
3 どちらともいえない	17
2 あまりそう思わない	4
1 まったくそう思わない	2
無回答	0
小計	35

設問	5
5 ほぼ時間どおり	26
4 延長することが多い	5
3 開始が遅いことが多い	2
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	2
無回答	0
小計	35

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	18	11	14	21	9	11	17
4 ややそう思う	15	15	17	11	15	10	14
3 どちらともいえない	2	8	4	3	10	10	4
2 あまりそう思わない	0	1	0	0	1	3	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	35	35	35	35	35	35	35

授業科目	デザイン特講A				担当者		デザイン非常勤教員	
開講時期	前期	曜日	水	時限	3	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
 デザインを様々な視点から考察し、デザインについての理解を深めることを目標とする。様々な分野で活躍するプロフェッショナルである講師陣を講義を毎週体験することができる。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
 「授業に意欲的に取り組んだか」「授業後に内容について興味・関心が高まったか」の質問に関しては 8割程度の学生が「強くそう思う」「ややそう思う」と答えるなど、総じて授業内容への関心度は高いことが伺える。

(2) 授業について
 質問全般にわたって、高評価（「強くそう思う」「ややそう思う」）が多数を占め、授業に関する満足度は概ね高かったといえる。しかし、設問 4 の「シラバスは授業の選択に役立ったか」に関しては「どちらともいえない」が半数を占めるなど、デザイン専攻が実施する講義系の授業に関して、シラバスが有効に活用されているか学生自身も判断がつかない様子が伺える。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて
 ・先生の熱意が伝わって感動する授業が多かった
 ・さまざまな分野についての話が聞けた
 ・就職について考えるきっかけになった

(4) 自由記述より学生からの要望について
 ・仕事の内容の話が多く、その人の哲学などが聞けると良かった
 ・空調が悪い

3 今後の授業の工夫・改善（FD）
 本授業はデザイン各分野のプロフェッショナルを招聘しておこなわれる座学である。授業内容に関しては各人のこれまでの経験や思想に基づいて展開される。今後はさらに教授陣を検証し、内容の充実を図る。

4 その他、意見
 特になし。

科目 デザインプレゼンテーション

担当 デザイン専攻

回答した学生 31 名

受講登録者 38 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	8
4 90%くらい	11
3 80%くらい	7
2 70%くらい	3
1 60%以下	2
無回答	0
小計	31

設問	2	3
5 強くそう思う	12	15
4 ややそう思う	12	12
3 どちらともいえない	4	3
2 あまりそう思わない	3	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	31	31

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	6
4 ややそう思う	5
3 どちらともいえない	15
2 あまりそう思わない	2
1 まったくそう思わない	3
無回答	0
小計	31

設問	5
5 ほぼ時間どおり	20
4 延長することが多い	7
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	3
無回答	0
小計	31

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	13	9	14	17	12	9	14
4 ややそう思う	13	10	13	11	11	15	12
3 どちらともいえない	4	9	3	1	6	6	4
2 あまりそう思わない	1	2	0	2	2	1	1
1 まったくそう思わない	0	1	1	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	31	31	31	31	31	31	31

授業科目	デザインプレゼンテーション				担当者	デザイン専攻教員		
開講時期	前期	曜日	水	時限	2	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
 デザイン制作に必要な様々な領域における基礎知識と、各種プレゼンテーションの基礎的な技術習得を目的とする。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
 「授業に意欲的に取り組んだか」「授業後に内容について興味・関心が高まったか」の質問に関しては 8 割程度の学生が「強くそう思う」「ややそう思う」と答えるなど、総じて授業内容への関心度は高いことが伺える。しかし、授業の出席への回答に「出席率 60%以下」が二人おり、これは単位を認定できる出席回数を満たしていない。出席回数に関する自覚があるのか、注意すべき点である。

(2) 授業について
 質問全般にわたって、高評価（「強くそう思う」「ややそう思う」）が多数を占め、授業に関する満足度は概ね高かったといえる。しかし、設問 4 の「シラバスは授業の選択に役立ったか」に関しては「どちらともいえない」が半数を占めるなど、デザイン専攻が実施する講義系の授業に関して、シラバスが有効に活用されているか学生自身も判断がつかない様子が伺える。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

- ・今後役に立つことを学ぶことができた
- ・より詳しく専門領域について知ることができた
- ・先生が意欲的に教えてくれていることが伝わった
- ・実践的な指導が良かった

(4) 自由記述より学生からの要望について

- ・実技授業（水曜午前中）時間内に組み込まれていることで時間の調整に苦労した
- ・この授業で宿題を出されると実技に支障が出る
- ・内容と授業回数が領域ごとに統一されていない印象がある

3 今後の授業の工夫・改善（FD）
 本授業はデザイン実技に必要なプレゼンテーション能力を身につけるために開講されている。授業内容に関して各領域から専門的な実践的技術等が指導されるが、今後はさらに教授内容を各領域で検証し、全学生に同程度のレベルが確実に身に付くよう気を配る。

4 その他、意見
 特になし。

科目 デザイン実技Ⅰ

担当 デザイン専攻

回答した学生 31 名

受講登録者 36 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	2
4	90%くらい	17
3	80%くらい	6
2	70%くらい	5
1	60%以下	0
	無回答	1
小計		31

設問		2	3
5	強くそう思う	17	14
4	ややそう思う	10	12
3	どちらともいえない	4	3
2	あまりそう思わない	0	1
1	まったくそう思わない	0	1
	無回答	0	0
小計		31	31

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	3	9	8	9	4	1	8	5
4	ややそう思う	7	10	10	13	14	6	12	15
3	どちらともいえない	16	6	10	8	7	3	8	10
2	あまりそう思わない	2	6	3	0	5	13	2	0
1	まったくそう思わない	3	0	0	0	1	8	1	1
	無回答	0	0	0	1	0	0	0	0
小計		31	31	31	31	31	31	31	31

授業科目	デザイン実技 I				担当者	デザイン専攻教員	
開講時期	通年	曜日	月～金	時限	1, 2	アンケート様式	☐ 講義 ☒ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 デザインにおける各分野を広く知り、基礎となる実技を身につける。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について ほとんどの学生が積極的に授業に取り組んだ。 (2) 授業について 内容については概ね評価されているが、設備や環境については不適切と評価されている。 (3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて 様々なデザインを知ることが出来た。 (4) 自由記述より学生からの要望について 授業内容よりも圧倒的に設備についての要望が多い。エアコン（温度調整）、雨漏り、コンセントなど教室の基本的機能について、早急に対応する必要がある。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 設備環境について、特に雨漏りについては実際に作品が損傷する被害が多発し、常にクレームがある。 温度調節ももう少し出来るようにしておかないと、学生が持ち込んでくるストーブ等によってブレーカーがとぶこともあり、今すぐに対応することで対応していく必要があると考える。 4 その他、意見 特になし。							

科目 デザイン実技Ⅱ

担当 デザイン専攻

回答した学生 17 名

受講登録者 36 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	4
4	90%くらい	8
3	80%くらい	3
2	70%くらい	2
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		17

設問		2	3
5	強くそう思う	11	13
4	ややそう思う	4	2
3	どちらともいえない	2	1
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	1
	無回答	0	0
小計		17	17

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	7	9	8	10	10	1	10	10
4	ややそう思う	3	5	6	3	3	1	4	4
3	どちらともいえない	5	2	2	1	2	3	2	2
2	あまりそう思わない	1	1	1	3	1	6	1	0
1	まったくそう思わない	1	0	0	0	1	6	0	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		17	17	17	17	17	17	17	17

授業科目	デザイン実技Ⅱ				担当者	柴崎 幸次	
開講時期	通年	曜日		時限		アンケート様式	☐ 講義 ☒ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 1年次と2年次前期までを、一連の基礎課程と捉え、専門領域の区別なくデザインを学ぶ学生が共通して身につけておくべき内容が学習出来るようになっている。 基礎課程は大きく3つのステージ「基礎造形」、「デザイン基礎1」、「デザイン基礎2」となっており、デザイン実技Ⅱは、下記の「デザイン基礎2」「領域毎の課題選択課題」に相当する。							
2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 実技科目でもあり、出席、授業意欲、興味関心は回答からは意欲的に取り組んでいると見られる。ただし、アンケートには現れていないが、日常の出席の悪い学生もいた。 (2) 授業について シラバスは評価が高いが、電子シラバスではデザインは不十分だったので、個別に紙で配布している。教室・設備に関してのみ特に評価が低い。 (3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて 授業（課題）によってバラツキがあるように見られるが、教員の指導に関して良い回答があること。 (4) 自由記述より学生からの要望について 授業（課題）によってバラツキがあるように見られるが、実技指導の軸でもある教授のデザインチェックや講評に先生が来ないことがあったこと。連絡方法など不備があったこと。Email や掲示など徹底することが必要と思われる。 設備に関しては冷暖房設備に機能不足があり十分な実習環境が整っていないことから、学生の集中力が下がっていることがうかがえる。また、耐震に関して常に不安を抱えながら授業を受けている現状がある。パソコンやプリンター設備などの要望が多い。							
3 今後の授業の工夫・改善（FD） 授業に関しては、運営管理面の徹底が特に重要視される。連絡の配信方法、受信する学生への指導を徹底すること。また、デザイン専攻では教員（助手）の人員が不足しているため起こる問題ではないかと考えられる。							
4 その他、意見 全体的に見て、やはり設備に関する意見は注目すべきである。冷暖房と耐震性の不安は学生の授業に対する集中力もそがれ、健康被害が出ることが懸念される。これは基本的な要求で、アンケートの表現からは改善がいつこうに進まない状況に不信感を持っていることがうかがえる。							

科目 デザイン実技Ⅲ

担当 デザイン専攻

回答した学生 10 名

受講登録者 38 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	0
4	90%くらい	4
3	80%くらい	5
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		10

設問		2	3
5	強くそう思う	3	5
4	ややそう思う	5	4
3	どちらともいえない	1	1
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		10	10

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	2	6	6	4	2	1	4	5
4	ややそう思う	1	1	2	2	4	0	5	4
3	どちらともいえない	4	1	1	3	3	1	1	1
2	あまりそう思わない	2	2	1	0	1	4	0	0
1	まったくそう思わない	1	0	0	0	0	4	0	0
	無回答	0	0	0	1	0	0	0	0
小計		10	10	10	10	10	10	10	10

授業科目	デザイン実技Ⅲ				担当者	デザイン専攻教員	
開講時期	通年	曜日	月～金	時限	1, 2	アンケート様式	☐ 講義 ☒ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
3 年次では 2 年次後期に引き続き 4 つの領域（視覚伝達、メディア、プロダクト、環境）から所属領域を選択し、各領域から並行して出題される課題を所属領域にとらわれない「課題選択制」によって授業が展開される。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
「授業に意欲的に取り組んだか」「授業後に内容について興味・関心が高まったか」の質問に関しては 8～9 割程度の学生が「強くそう思う」「ややそう思う」と答えるなど、総じて授業内容への関心度は高いことが伺える。

(2) 授業について
質問全般にわたって、高評価（「強くそう思う」「ややそう思う」）が多数を占め、授業に関する満足度は概ね高かったといえる。しかし、設問 4 の「シラバスは授業の選択に役立ったか」に関しては評価が分かれるなど、シラバスが有効に活用されているか学生自身も判断がつかない様子が伺える。また設問 9 の「教室・設備に関して適切だったか」では「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」が 8 割を数えるなど、施設整備に関して強い不満があることが伺える。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて
特になし。

(4) 自由記述より学生からの要望について

- ・ 教室が寒い
- ・ 空調が切れる時間が早く、作業ができない
- ・ 延長願いを出してアトリエで作業している場合には冷暖房をつけてほしい

3 今後の授業の工夫・改善（FD）
学生からの要望ではアトリエの冷暖房に関して強い不満を抱いていることが伺える。デザイン棟アトリエは壁がない構造のため、冷暖房の効果が行き渡りにくい。授業開始の 1 時間前から、アトリエ使用延長願いが提出されている場合はその時間まで、稼働していることが望ましい。学生の健康状態に関わる重要な改善点であることを主張する。

4 その他、意見
特になし。

科目 デザイン実技Ⅳ

担当 デザイン専攻

回答した学生 40 名

受講登録者 48 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	6
4	90%くらい	12
3	80%くらい	12
2	70%くらい	5
1	60%以下	4
	無回答	1
小計		40

設問		2	3
5	強くそう思う	20	22
4	ややそう思う	13	8
3	どちらともいえない	4	6
2	あまりそう思わない	1	3
1	まったくそう思わない	2	1
	無回答	0	0
小計		40	40

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	5	16	21	17	15	3	14	17
4	ややそう思う	5	7	7	12	14	7	14	13
3	どちらともいえない	14	11	11	6	5	6	9	9
2	あまりそう思わない	7	3	0	4	4	13	2	0
1	まったくそう思わない	8	3	0	1	2	11	1	1
	無回答	1	0	1	0	0	0	0	0
小計		40	40	40	40	40	40	40	40

授業科目	デザイン実技Ⅳ				担当者	デザイン専攻教員	
開講時期	通年	曜日	月～金	時限	1, 2	アンケート様式	☐ 講義 ☒ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

4 年次では 4 領域（視覚伝達、メディア、プロダクト、環境）の中から所属領域を選択し、自身の志向性と卒業制作への取り組みを所属領域に反映させながら担当教員とのミーティングを経た上で前期は課題を選択し、後期は卒業制作に取り組む。

2 アンケート結果の所見

（１）受講した学生自身について

「授業に意欲的に取り組んだか」「授業後に内容について興味・関心が高まったか」の質問に関しては 7～8 割程度の学生が「強くそう思う」「ややそう思う」と答えるなど、総じて授業内容への関心度は高いことが伺える。

（２）授業について

質問全般にわたって、高評価（「強くそう思う」「ややそう思う」）が多数を占め、授業に関する満足度は概ね高かったといえる。しかし、設問 4 の「シラバスは授業の選択に役立ったか」に関しては評価が分かれるなど、シラバスが有効に活用されているか学生自身も判断がつかない様子が伺える。また設問 9 の「教室・設備に関して適切だったか」では「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」が多数おり、施設整備に関して強い不満があることが伺える。

（３）自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

卒業制作を含む 4 年次にあたるこの授業で学生はより教員と制作を通してコミュニケーションが深まることを実感している事が伺える。

（４）自由記述より学生からの要望について

施設整備に関する要望が多く見られる。アトリエでの制作に特に集中力を必要とされるこの授業での冷房、暖房のエアコン整備や雨漏りなどの施設の不整備は直接制作にも学生の健康状態にも関わる深刻な問題であると言える。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

他のデザイン実技の授業と同様に施設の不備に関して圧倒的に学生からの不満を強く感じる。特に卒業制作という学生にとっての正念場とも言えるこの授業に、制作に集中できないもどかしさをアンケートから強く感じる。アトリエの冷暖房、建物自体の老朽化による危険（天井からコンクリート片が落ちてくる、等）や不安、デザイン制作上の機材に関する不整備に関して早急に根本的な改善が一日も早く切望される。

4 その他、意見

特になし。

科目 デザイン工芸論B

担当 デザイン・陶磁専攻教員

回答した学生 37 名

受講登録者 54 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	13
4 90%くらい	18
3 80%くらい	5
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	37

設問	2	3
5 強くそう思う	4	6
4 ややそう思う	12	14
3 どちらともいえない	14	13
2 あまりそう思わない	4	2
1 まったくそう思わない	2	2
無回答	1	0
小計	37	37

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	3
4 ややそう思う	7
3 どちらともいえない	15
2 あまりそう思わない	8
1 まったくそう思わない	4
無回答	0
小計	37

設問	5
5 ほぼ時間どおり	18
4 延長することが多い	11
3 開始が遅いことが多い	4
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	3
無回答	0
小計	37

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
- 8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- 9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
- 10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 11 教室・設備については適切でしたか。
- 12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	7	6	6	9	2	4	3
4 ややそう思う	15	8	14	20	7	18	18
3 どちらともいえない	12	17	14	8	13	8	14
2 あまりそう思わない	3	6	3	0	11	7	2
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	4	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	37	37	37	37	37	37	37

授業科目	デザイン工芸論B				担当者	デザイン・陶磁専攻教員	
開講時期	後期	曜日		時限		アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 デザイン・工芸史を中心に、歴史的な事項とデザイン・工芸の系譜に関して幅広く講義を行う。デザイン・工芸の理解を深め、将来のデザイン・工芸研究の基礎を担う知識を身につけることを目的としている。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 出席率はほぼすべての学生が80%以上である。授業で扱われた内容への興味・関心が高まったことに対しても、一定の肯定的な評価をしていることが読み取れる。 (2) 授業について 肯定的な回答が多く、大旨満足度の高い授業として評価できる。 (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 多分野にわたる工芸に関する作品資料のスライドを中心に、授業進行されたことに満足している様子だった。 (4) 自由記述より学生からの要望について 資料館地下演習室における空調設備や机・椅子の改善を望む意見があった。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 初めての授業内容で、全般に工芸の論が中心の授業内容であったため、ややとまどいが見られたが、講義の進行とともに、関心や興味をもって理解している姿勢がみられた。学生が、より積極的に参加していけるように検討していきたい。 4 その他、意見							

科目 デザイン特講B

担当 デザイン専攻

回答した学生 18 名

受講登録者 49 名

●受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	2
4 90%くらい	8
3 80%くらい	6
2 70%くらい	2
1 60%以下	0
無回答	0
小計	18

設問	2	3
5 強くそう思う	4	6
4 ややそう思う	11	9
3 どちらともいえない	3	2
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	1
無回答	0	0
小計	18	18

●授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	1
4 ややそう思う	4
3 どちらともいえない	10
2 あまりそう思わない	1
1 まったくそう思わない	2
無回答	0
小計	18

設問	5
5 ほぼ時間どおり	12
4 延長することが多い	2
3 開始が遅いことが多い	3
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	18

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	7	4	6	7	3	2	8
4 ややそう思う	7	7	8	6	6	4	4
3 どちらともいえない	4	6	3	3	9	7	5
2 あまりそう思わない	0	1	0	1	0	3	0
1 まったくそう思わない	0	0	1	0	0	2	1
無回答	0	0	0	1	0	0	0
小計	18	18	18	18	18	18	18

授業科目	デザイン特講B				担当者		デザイン非常勤教員	
開講時期	後期	曜日	水	時限	3	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
様々なデザイン領域、関連領域で活躍する専門家を招き、デザインやそれを取り巻く環境について講義、解説する授業である。各界のプロフェッショナルである講師陣を通じて多様なデザインや創造活動の世界に触れることが出来る。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
「授業に意欲的に取り組んだか」「授業後に内容について興味・関心が高まったか」の質問に関しては 8割程度の学生が「強くそう思う」「ややそう思う」と答えるなど、総じて授業内容への関心度は高いことが伺える。

(2) 授業について
質問全般にわたって、高評価（「強くそう思う」「ややそう思う」）が多数を占め、授業に関する満足度は概ね高かったといえる。しかし、設問 4 の「シラバスは授業の選択に役立ったか」に関しては「どちらともいえない」が半数を占めるなど、デザイン専攻が実施する講義系の授業に関して、シラバスが有効に活用されているか学生自身も判断がつかない様子が伺える。また、設問 11 の「教室・設備に関して適切だったか」の回答では判断が分かれ、3 分の 1 弱の学生が「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」という否定的な回答をしている。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

- ・先生の熱意が伝わって感動する授業が多かった
- ・さまざまな分野についての話が聞けた
- ・就職について考えるきっかけになった

(4) 自由記述より学生からの要望について

- ・仕事の内容の話が多く、その人の哲学などが聞けると良かった
- ・空調が悪い

3 今後の授業の工夫・改善（FD）
本授業はデザイン各分野のプロフェッショナルを招聘しておこなわれる座学である。授業内容に関しては各人のこれまでの経験や思想に基づいて展開される。今後はさらに教授陣を検証し、内容の充実を図る。また、施設整備について点検し、暖房と換気について対策を講じる。

4 その他、意見
特になし。

科目 デザイン文化史特講

担当 長谷 高史

回答した学生 33 名

受講登録者 38 名

●受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	5
4 90%くらい	13
3 80%くらい	11
2 70%くらい	3
1 60%以下	1
無回答	0
小計	33

設問	2	3
5 強くそう思う	4	5
4 ややそう思う	9	15
3 どちらともいえない	18	11
2 あまりそう思わない	2	2
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	33	33

●授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	4
4 ややそう思う	6
3 どちらともいえない	18
2 あまりそう思わない	2
1 まったくそう思わない	3
無回答	0
小計	33

設問	5
5 ほぼ時間どおり	23
4 延長することが多い	4
3 開始が遅いことが多い	3
2 早く終わることが多い	2
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	33

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	13	8	10	12	5	5	4
4 ややそう思う	14	13	13	10	7	7	14
3 どちらともいえない	6	9	9	9	14	10	12
2 あまりそう思わない	0	3	1	2	4	10	3
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	3	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	33	33	33	33	33	33	33

授業科目	デザイン文化史特講				担当者	長谷 高史	
開講時期	後期	曜日	水	2 時限		アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
 資料をベースにレクチャーと板書による講義形式で、1850 年代から現代までを時系列的に解説しながら現代のトピックスを交えながら、史的解説だけでなく、近未来の状況への発展につながる講義としている。
 また、適宜、専門家を講師に招き、愛知の伝統的工芸や欧米事情などにも言及している。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
 熱心に受講しているので講義がし易い。

(2) 授業について
 それぞれの項目での指摘部分については改善するよう努めている。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて
 資料についてはより多くのものを配布したいと考えている。

(4) 自由記述より学生からの要望について
 施設についての要望が多く、大学としての対応を求めて行く。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)
 授業の時間帯については、前回まで 1 時限でしたが、学生の要望を入れて 2 時限に変更をしている。
 実技時間帯での講義であるので、教務と調整したい。

4 その他、意見

科目 陶磁実技Ⅰ

担当 陶磁専攻

回答した学生 10 名

受講登録者 10 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	1
4	90%くらい	8
3	80%くらい	1
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		10

設問		2	3
5	強くそう思う	6	7
4	ややそう思う	4	3
3	どちらともいえない	0	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		10	10

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
5 授業時間は十分だと感じましたか。
6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
9 教室・設備については適切でしたか。
10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	1	0	0	2	2	4	7	5
4	ややそう思う	2	1	6	3	6	2	3	4
3	どちらともいえない	5	3	4	4	2	4	0	1
2	あまりそう思わない	0	6	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	2	0	0	1	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		10	10	10	10	10	10	10	10

授業科目	陶磁実技 I				担当者		陶磁専攻教員	
開講時期	通年	曜日	毎日	時限	1, 2	アンケート様式	☐ 講義	☒ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 陶磁器制作における基礎造形力の養成を目標としている。描く、作る、調査、立体造形を通して観察力、基礎造形力を養うとともに陶磁器制作の基礎技法を学ぶ。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 出席状況は90パーセント以上が多く、良好といえる。 (2) 授業について 教員の話し方、スピードは4及び3が多かった。教員とのコミュニケーションも4及び3が多数、力量に合った適切な指導を受けることが出来たかという質問には4が多かった。教員の学生との接点で一工夫が望まれる。 (3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて 特にないが、内容への興味、関心が高まったようである。 (4) 自由記述より学生からの要望について 課題の時間的配分を検討してほしいという要望があった。技法の練習や発想する時間が特に足りないように感じる。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 内容からくる課題時間の配分の検討と学生の状況を考慮したきめ細かい指導方法が望まれる。 4 その他、意見 特になし。								

科目 陶磁実技Ⅱ

担当 陶磁専攻

回答した学生 10 名

受講登録者 10 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	1
4	90%くらい	5
3	80%くらい	4
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		10

設問		2	3
5	強くそう思う	6	6
4	ややそう思う	3	3
3	どちらともいえない	1	1
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		10	10

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	1	2	3	4	4	0	5	5
4	ややそう思う	2	2	4	2	5	2	5	4
3	どちらともいえない	6	3	3	4	1	3	0	1
2	あまりそう思わない	1	3	0	0	0	3	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	1	0	0
小計		10	10	10	10	10	10	10	10

授業科目	陶磁実技Ⅱ				担当者	陶磁専攻教員	
開講時期	通年	曜日		時限		アンケート様式	☐ 講義 ☒ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 陶磁器制作における基本技術及び基礎造形・描写力の研鑽に加え、独創性・発想・構想力を鍛える。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 積極的に受講し、意欲的に取り組み、努力している姿勢が見られる。 (2) 授業について 授業全般について総合的に評価が良いように、大旨良好である。 制作時間については学生個々の制作内容によって認識が異なることが伺える。自ら熱心に質問をするなど、積極性をもって望む姿勢が大切である。指導教員とのコミュニケーションがとれるよう留意が必要である。 (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて より専門性を高めた授業内容に大旨満足している。 (4) 自由記述より学生からの要望について 課題制作時間の不足や空調設備、施設整備充実の要望が強い。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 授業全般の総合的評価が高いように、授業構成は問題ないと思われる。学生が興味を持って臨めるように、授業進行の方法や個々の学生にあった指導等、柔軟な対応を継続していくことが望ましい。 4 その他、意見							

科目 陶磁実技Ⅲ（セラミックデザイン）

担当 陶磁専攻

回答した学生 7 名

受講登録者 7 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	0
4	90%くらい	5
3	80%くらい	1
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		7

設問		2	3
5	強くそう思う	3	4
4	ややそう思う	4	3
3	どちらともいえない	0	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		7	7

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	0	1	1	1	1	0	4	2
4	ややそう思う	1	2	5	4	3	2	3	3
3	どちらともいえない	3	1	1	2	3	1	0	2
2	あまりそう思わない	2	1	0	0	0	2	0	0
1	まったくそう思わない	1	1	0	0	0	2	0	0
	無回答	0	1	0	0	0	0	0	0
小計		7	7	7	7	7	7	7	7

授業科目	陶磁実技Ⅲ（セラミックデザイン）				担当者	川村 秀樹、友岡 秀秋、 長井 千春		
開講時期	通年	曜日	月～ 金	時限	1・2	アンケート様式	☐ 講義 ☒ 実技・実習	

1 この授業における教育方法の特徴

陶磁専攻では、3 年次開講の陶磁実技 3 から、陶芸コースとセラミック（陶磁器）デザインコースに分かれて実技指導を行っており、その専門性を明解にしている。同実技授業は、造形演習・押し型による花器制作、圧力成形によるタイル制作とシルクスクリーン実習、さらにデザイン専攻との共同課題としてポット（注器）デザインの 3 課題に取り組み、石膏型鋳込み成形を中心とした陶磁器デザインの専門性を深めた。後期 4 課題目のデザイン基礎 3 では、ファクトリーデザインとクラフトデザインの各分野から学生一人一人がテーマと課題設定を行ない制作に取り組んだ。同課題では、学生個々の適性にあわせて個人指導を行なっている。

2 アンケート結果の所見

（1）受講した学生自身について

問 1 / 出席率は 70～90% で、全学生がまじめに授業に参加している。問 2・3 / 授業への取り組みも全員意欲的であった。さらに課題を通じ、その内容への興味や関心を 100% 持つ事が出来ている。

（2）授業について

問 4 / シラバスの活用や役割があまり効果的でないようだ。問 5 / 授業時間については十分かそうでないかの意見が平均的に分散しており、どちらとも言えない。問 6 / 教員の話し方やスピードについては 70% が満足している。問 8 / 指導レベルについては、約 60% が相応しいと感じ、43% どちらでもないと回答している。指導レベルはおおむね適切であると考えられる。問 9 / 教室・設備については、28% がやや適切と回答しており、空調設備の不備他、不満を持つ学生が 70% と大変多い。問 10・11 / この授業が専門能力向上に役立ったか、そして授業の総合評価についての問いでは、それぞれ 100%、70% が満足していることがわかった。

（3）自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

本授業の第 3 課題ポット（注器）制作は、デザイン専攻との共通課題であるが、他専攻の学生と一緒に学べたことが陶磁専攻の学生にとって良い刺激となったようである。

本授業で、陶芸コースの先生もサポートしてくれたが、このようなコースを超えた指導連携が学生に好評であった。

（4）自由記述より学生からの要望について

陶磁専攻の実技工房は空調設備が完備されていない。今年度の猛暑、厳冬で、学生達は制作に際し大変な困難を強いられたようだ。また、陶磁器制作では始終水の使用が欠かせないが、温水器がないため、身を切るような冷たい水のせいで手が縮こまり、思うように作業はかどらなかったと多くの苦情が寄せられた。

また、週末や休み期間も自由に制作できるようにしてほしいという要望も多かった。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

デザイン専攻との連携授業と 3 年次以降の専門コース（陶芸と陶磁器デザイン）の連携指導をさらに充実させて行くことを学生達が望んでいることがわかったので、努力して行きたい。

シラバスをもっと効果的に活用し授業に行かせるようにしたい。

4 その他、意見

科目 陶磁実技Ⅲ（陶芸）

担当 陶磁専攻

回答した学生 2 名

受講登録者 3 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	0
4	90%くらい	1
3	80%くらい	1
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		2

設問		2	3
5	強くそう思う	2	2
4	ややそう思う	0	0
3	どちらともいえない	0	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		2	2

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
5 授業時間は十分だと感じましたか。
6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
9 教室・設備については適切でしたか。
10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	0	0	2	2	2	0	2	2
4	ややそう思う	0	2	0	0	0	0	0	0
3	どちらともいえない	1	0	0	0	0	0	0	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	1	0	0	0	0	2	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		2	2	2	2	2	2	2	2

科目 陶磁実技Ⅳ（セラミックデザイン）

担当 陶磁専攻

回答した学生 7 名

受講登録者 7 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	1
4	90%くらい	4
3	80%くらい	0
2	70%くらい	1
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		7

設問		2	3
5	強くそう思う	4	6
4	ややそう思う	2	1
3	どちらともいえない	1	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		7	7

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	2	2	0	0	0	1	5	3
4	ややそう思う	0	0	5	6	5	3	2	3
3	どちらともいえない	2	4	2	0	2	1	0	1
2	あまりそう思わない	1	0	0	0	0	1	0	0
1	まったくそう思わない	2	1	0	0	0	1	0	0
	無回答	0	0	0	1	0	0	0	0
小計		7	7	7	7	7	7	7	7

授業科目	陶磁実技Ⅳ（セラミックデザイン）				担当者	陶磁専攻全教員		
開講時期	通年	曜日		時限		アンケート様式	☐ 講義	☒ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
陶磁専攻では、3年次から専門教育期間と位置付け、陶芸コースとセラミックデザインコースに分かれて教育を行っている。それぞれのコースともに、より高度な技術・制作・創造力の習得を目指し、「用の美」をテーマに取り組んでいる。また学生個々の個性をより良く伸ばせるように個人指導を行っている。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
7割の学生が出席率 90%を超え、授業には大変意欲的に取り組み、また授業で扱った内容に対しても興味・関心がおおいに高まったという結果に対してはある程度の成果があったと判断できる。

(2) 授業について
授業全体への総合評価としては学生個々により多少のばらつきはあるが、指導体制における地味な改善の効果や、それに加えて教員との個人指導におけるコミュニケーションがよくとれていると判断できる。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて
教員との個人指導におけるコミュニケーションがよくとれている結果により、力量に合ったきめ細かな指導が達成できているようである。特に専門能力の向上に役に立ったとの評価については、3年次からの専門教育期間での個人指導が実を結んでいる結果であろう。

(4) 自由記述より学生からの要望について
特に強い要望があるのは空調関係の整備とスペースの問題である。
また一部の学生から、技術指導不足の指摘があったが、創作指導に重点を置いた結果であると思われる。
非常勤体制の見直しも含めて検討と改善に努めたい。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）
今後の授業においても個人指導における十分なコミュニケーション、力量に合った指導、さらなる専門能力の向上に役立つように工夫を凝らしていく。また表現形態の変化に対して伝統をしっかり踏まえ、且つ柔軟に対応していく必要がある。

4 その他、意見

科目 陶磁実技Ⅳ（陶芸）

担当 陶磁専攻

回答した学生 3 名

受講登録者 4 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	0
4	90%くらい	2
3	80%くらい	0
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		3

設問		2	3
5	強くそう思う	1	3
4	ややそう思う	2	0
3	どちらともいえない	0	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		3	3

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	0	0	1	0	0	0	2	1
4	ややそう思う	1	1	0	1	2	2	1	2
3	どちらともいえない	1	1	2	2	1	1	0	0
2	あまりそう思わない	0	1	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	1	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		3	3	3	3	3	3	3	3

授業科目	陶磁実技Ⅳ（陶芸）				担当者	太田 公典	
開講時期	通年	曜日	月～ 金	時限	1・2	アンケート様式	☐ 講義 ☒ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
 個人指導の授業のため、個々の目標を年度初めに本人に申告させ、それをもとに面談を行い相談のうえ年間指導計画をたてる。一月に一度程度の個人面談により、学生の進捗状況に合わせて指導をしている。個々の技法については、他の先生方の意見を求めながら進めてゆく。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
 出席は70%以上あり、授業で扱われた内容への興味・関心については5－3名と高く、意欲的に取り組み興味関心は高まっている。

(2) 授業について
 実技中心の授業として、適切な指導と設備の中で専門性を高めていることがわかる。特に専門性の向上については5－2名、4－1名、授業全般の評価については5－1名、4－2名と高い評価であった。問4から問11の中で唯一2であったのが授業時間が不足していたという内容であり、熱心さがうかがえる。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて
 自由記述では材料が豊富に用意してあることが評価されていた。制作に十分な原料を準備しておくことができた。

(4) 自由記述より学生からの要望について
 工房の使用時間延長の希望があったが、朝7時から夜7時まで使用することができるので、充分と思われる。いたずらに長くするよりも、集中することが大切と考えている。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）
 全体として授業の評価は高いが、教員との対話について問6・7に対して3の評価が2名ずついた。普通なので問題はないと思われるが、よりコミュニケーションに注意を払いながら授業を進めたい。

4 その他、意見

